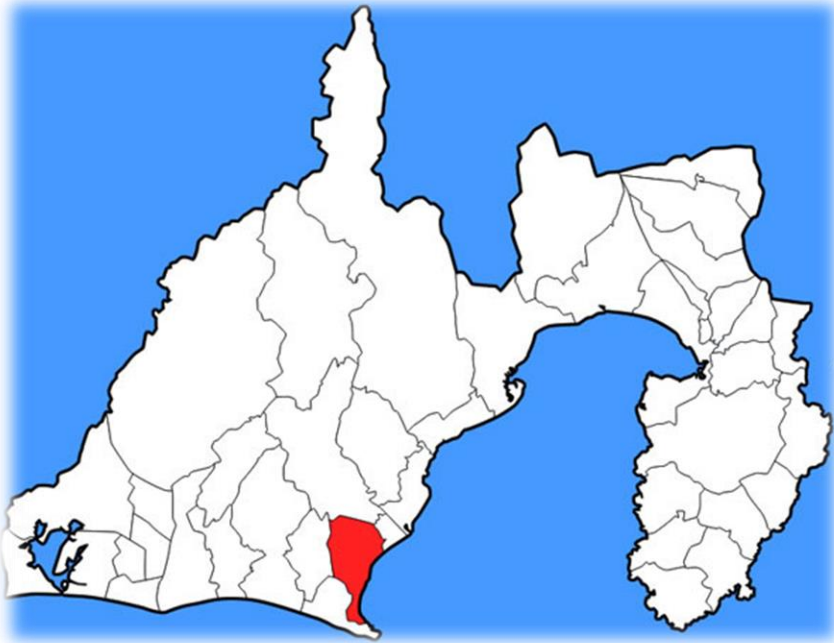


第1分科会 義務教育段階

牧之原発！コミュニティ・スクールが拓く、 地域共育の新たな地平

発 表 者 静岡県牧之原市教育文化部学校教育課 指導主事 芝原 一史
静岡県牧之原市教育文化部社会教育課 主任 森田 周可



人口 約42,000人 内小中学生 約3,000人
 学校数 小学校 9校、中学校 3校

※令和12年度、15年度に、
 旧町単位で義務教育学校に



田沼意次侯



凡例

- : 小学校 (9校)
- : 中学校 (3校)

地域を愛する子供を育てたい！

地域の「良さ」を感じてほしい！

地域の子供達を、地域の
みんなで育てよう！

CSを使って、
その方法を
考えよう！

…という、説明を市内学校に何度も実施しました。

加えて、先進事例の見学や、文科省CSマイスターの助言を受けて…

令和2年度 モデルとなる3校にコミュニティ・スクールを先行導入

令和3年度 市内小中学校全校がコミュニティ・スクールになりました！



～学 校～

学校運営協議会



- 学校・家庭・地域の代表者が参加する。
- 学校運営の基本方針を承認する。
- 学校運営に対して学校に意見を述べることができる。
- これを実現するために、学校・家庭・地域がそれぞれどんな連携や協力をするのがよいか熟議をする。



コミュニティ・スクール・ディレクター (略称：『CSD』)

←委員として参加
人と活動を
コーディネート→

～地 域～

地域学校協働活動



- 地域の学びや安全・安心の場を共有し、学校運営協議会が考えたことを実行する。



コミュニティ・スクール

牧之原市の「コミュニティ・スクール・ディレクター」 ってどんな人？

【役割】

- ・学校運営協議会開催にかかる役割

（通知、資料作成、委員への連絡、事前打ち合わせ、協議会の進行）

- ・地域との交流を活発化させる役割

（講師探しと依頼、ボランティアとの連絡や取りまとめ）

- ・学校運営補助にかかる役割

（各種行事のサポート、学校美化活動）

- ・これらの報告、広報活動

学校運営協議会と地域学校協働活動をさらに一体的に推進するために
市内の学校に各1名、合計11名に委嘱しています。

地域の代表として、先生や児童と一緒に汗をかくくれる
「地域のスペシャリスト」です。

「地域のスペシャリスト」として存分に力をふるってもらうために…

1 「実施要項」の作成

- ①勤務内容の明記 ②活動時間数の明記（年間450時間、週10時間）
- ③時給 会計年度職員と同水準

2 「CSルーム」を学校内に配置

活動場所を整備し、地域の方が立ち寄ることができる部屋を、予算を付けて整備しました。

昇降口の隣に配置

気軽に寄ってもらえるスペース

コミュニティ・スクール・ディレクターに対する
活動支援が最重要です

3つの「寺子屋」の実現



下校後のバス待ち時間帯の居場所づくりを考えたいな…

自習する児童の見守り支援ならできそうだね

1・2年生は、バスが出るまでかなり
時間がある

宿題でも自主勉でもいいんだね

CSルームで「バス待ち寺子屋」し
たら？

「寺子屋はぎま」という名称はどうだろう？

バスの児童だけでなく
徒歩通学の子も活用
できるね



3つの「寺子屋」の実現

バス待ち寺子屋



放課後・寺子屋



夏休み・寺子屋



熟議を行い、
子供の居場所を
作ることができた！

地域の財産を生かした学習の実現



2年生の生活科の町探検コースについて、
地元の良い場所を効率よく回りたいけど、教えていただけますか。

その中で地元のお店を知ってもらえたら嬉しいな。

お店もいいけど町工場とかも見せたいね！

それなら、知り合いがいるから紹介するよ！

見るだけでなく、インタビューも入れたいね。

働くことで気を付けていることも3年生の社会科を見通して話してほしいな。



◆まち探検に行こう（小学2年：生活科）

CSDが地域のお店や人と、子供を繋げることができた！



まちの工場見学



まちのでんき屋さん

◆社会科見学（小学3年）



まちの飲食店



次年度学ぶ小学3年生の
『店ではたらく人々の仕事』へつながる。

スーパーマーケットやコンビニ 9

中学校での取組

◆「英語検定のとりくみ」



◆「職業体験活動」 (中学2年生)



パティシエの仕事

コミュニティ・スクールを通じて多くの活動を実現できた！

◆「放課後学習会」



主に、数学・理科・社会等

◆「防災学習」



理容室での仕事



各区の防災関係者に参加依頼 10

◎ 成果



～学 校～

子供にとって

- ・子供たちが地域のことについて詳しくなり、大人たちとも触れ合う機会が増えた。
- ・数多くの体験をする機会ができた。

教職員にとって

- ・プールの監視、登下校の見守り、ミシン指導補助等、様々な授業支援を地域人材からうけることができる。
- ・授業参観の駐車場、農業支援など、教職員の負担軽減となり、働き方改革へと繋がった。
- ・5年を経て、学校運営協議会が活発化してきている。

～地 域～

- ・地域が学校をより深く理解し、協働の意識が強くなっている。
- ・コミュニティ・スクールから発展した地域イベントなど、地域へのフィードバックが発生している。
- ・地域住民同士がお互いを知り、親しくなっている。

● 課題



・コミュニティ・スクール・ディレクターの高齢化と後継者の確保

・教職員とコミュニティ・スクール・ディレクターとの持続的な関係づくり

・コミュニティ・スクール発信の地域行事・地域活動の活性化と組織化

・学校再編後のコミュニティ・スクールの在り方

伴走支援

- ・コミュニティ・スクール・ディレクターの情報交換会
- ・文科省CSマイスターを招いた勉強会
- ・市担当が学校運営協議会の会議や活動へ参加

成果と課題の共有

継続した勉強の機会

現場の実情理解、協働

知識や経験、思いを共有し、
改善に繋げることが重要です

市教育委員会が一丸となるための意識づけ

教育長以下、教育委員会全員体制で
コミュニティ・スクールについて勉強会を開催



こんなジャンパーも
作りました…！

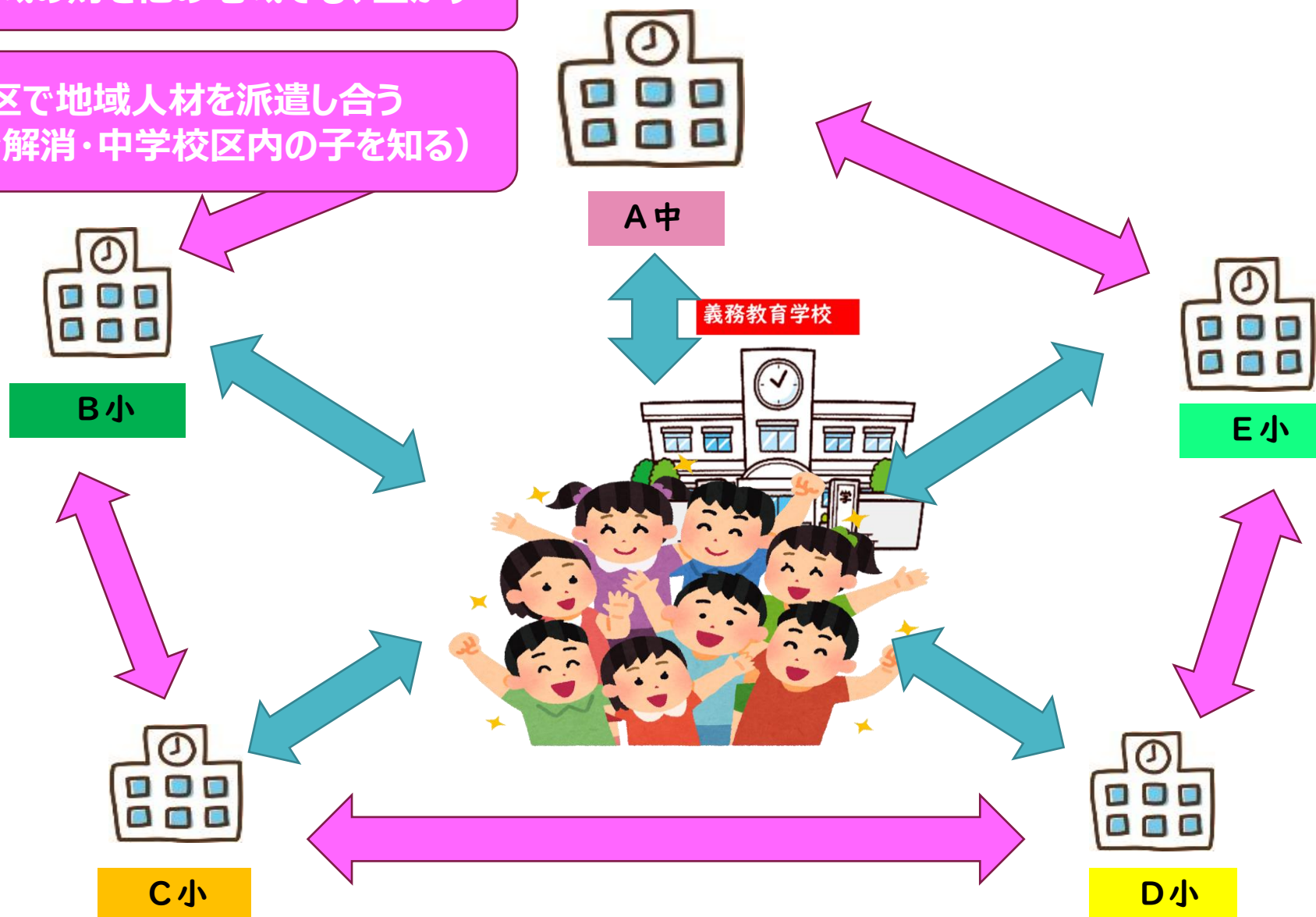


縦割りではない、横の連携を大事にしています

これからのコミュニティ・スクール構想

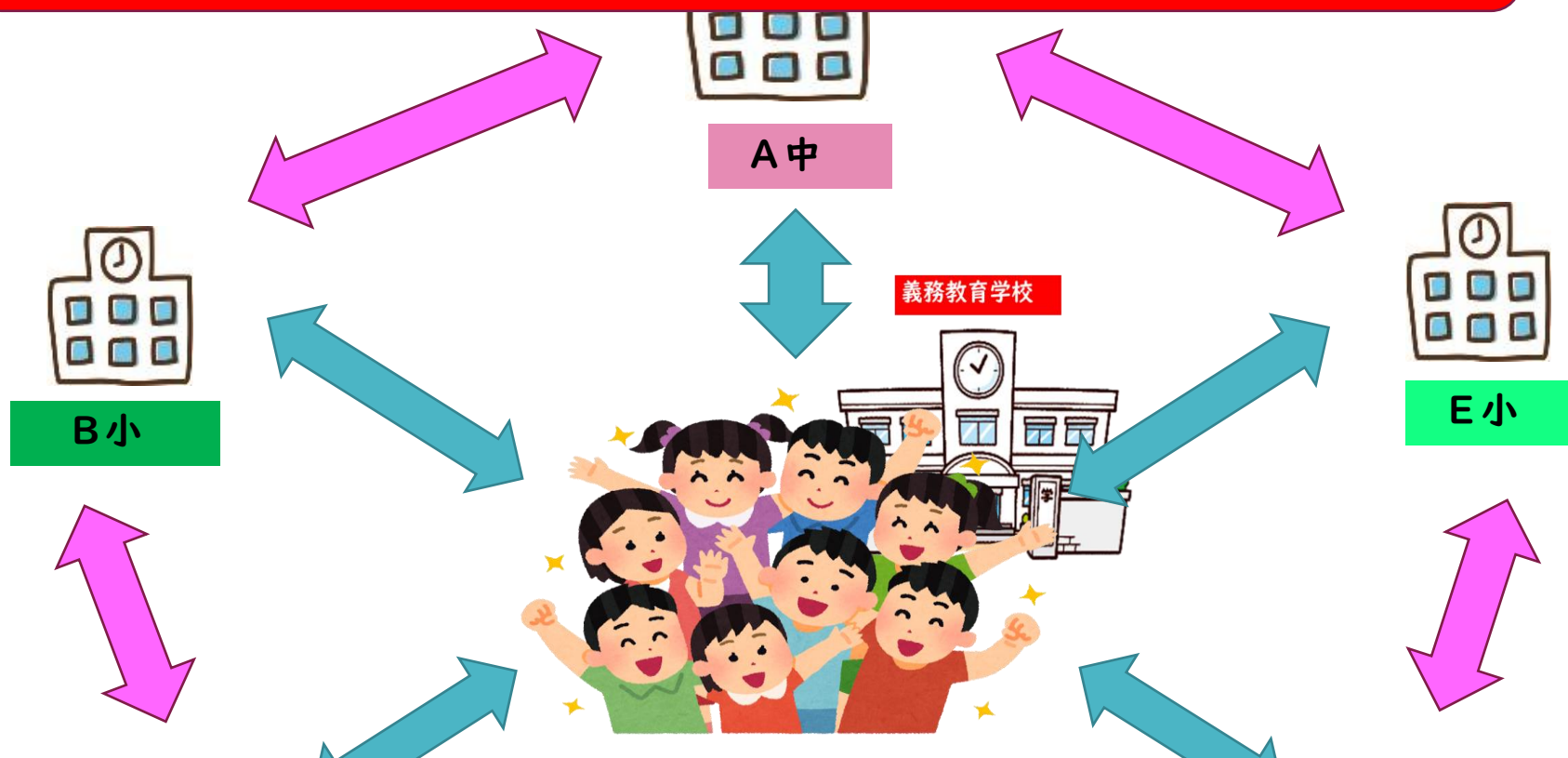
それぞれの地域の財を他の地域でも、生かす

中学校区で地域人材を派遣し合う
(人手不足を解消・中学校区内の子を知る)



これからのコミュニティ・スクール構想

地域の財を、共有

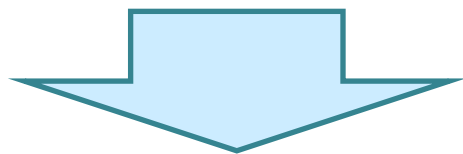


今の地域をより広く、大きいコミュニティで
牧之原の子供を育てるという視点を！

C小

D小

様々な立場の大人（教師・保護者・地域人材）が
地域の“宝”である子供たちを
地域で温かく見守り、支えていく



魅力ある牧之原市へ
魅力あるコミュニティへ

